

補助事業番号 19-1-122

補助事業名 平成19年度全国的医療機関に関わる機器整備等補助事業

補助事業者名 日本赤十字社

## 1. 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

日本赤十字社は、定款の定めるところにより、赤十字の理想とする人道的任務を達成することを目的として、地震、火災、風水害その他の非常災害時又は伝染病流行時において、傷病その他の災やくを受けた者の救護を行い、また、常時、健康の増進、疾病の予防、苦痛の軽減その他社会奉仕のために必要な事業を行っている。

自動体外式除細動器整備補助事業については、本社、各都道府県支部の災害救援車両及び各赤十字血液センターへ自動体外式除細動器の配備を推進し、一般市民と接するあらゆる赤十字活動に携行するとともに、血液センターに来所する方々を対象とし、突然の心停止に際し、現場での救命手当に使用できる環境を整備し救命率の向上を図るとともに、一般市民に対する自動体外式除細動器の理解促進と社会的な普及広報を進め、もって公益の増進に寄与する。

また、全国的医療機関に関わる機器整備補助事業については、地域医療の拠点的役割を担っている医療施設に生活習慣病等の診療、基礎的研究等に資する高性能の機器を整備することにより、これら事業の充実、強化を図り、もって公益の増進に寄与する。

### (2) 実施内容

ア. 北海道赤十字血液センターほか	自動体外式除細動器
イ. 芳賀赤十字病院	乳房用X線撮影装置
ウ. 日本赤十字社長崎原爆諫早病院	X線CT
エ. 秋田赤十字病院	自動血球計数装置
オ. 中町赤十字病院	超音波診断装置(腹部)
カ. 福島赤十字病院	デジタルX線TV装置
キ. 唐津赤十字病院	自動血球計数装置

ク. 日本赤十字社長崎原爆病院	超音波診断装置(腹部)
ケ. 小野田赤十字病院	乳房用X線撮影装置
コ. 舞鶴赤十字病院	デジタルX線TV装置
サ. 武蔵野赤十字病院	超音波診断装置(腹部)
シ. 今津赤十字病院	X線CT
ス. 富山赤十字病院	全自動尿分析装置

## 2. 予想される事業実施効果

地域医療の拠点的役割を担っている医療施設に生活習慣病等の診療、基礎的研究等に資する高性能の機器を整備することができ、診療や検査等における精度、処理能力、患者の環境が大幅に向上し、地域住民に対する医療サービスの提供をより能率的かつ的確に行える体制を整備する。

## 3. 本事業により作成した印刷物等

無し。

## 4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 日本赤十字社 (ニッポンセキジュウジシャ)  
 住所： 105-8521  
 東京都港区芝大門一丁目1番3号  
 代表者： 社長 近衛 忠輝 (コノエ タダテル)  
 担当部署： 総務局総務部管財課 (ソウムキョクソウムブカンザイカ)  
 担当者名： 主事 山岸 良馬 (ヤマギシ リョウマ)  
 電話番号： 03-3437-7076  
 F A X : 03-3433-8525  
 E-mail : [kanzai@jrc.or.jp](mailto:kanzai@jrc.or.jp)  
 URL : <http://www.jrc.or.jp/>